



東北再生「私大ネット36」2018年春 南三陸スタディツアー 参加のしおり Act1

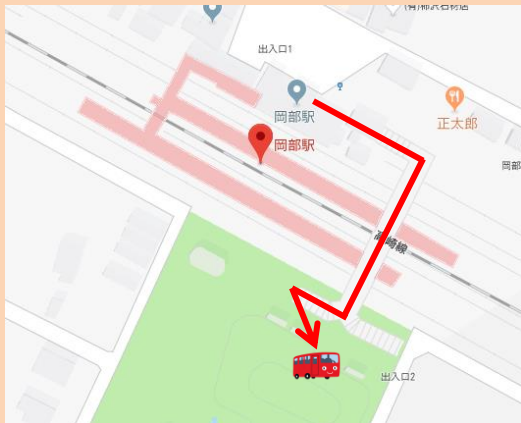
■集合場所・時間・参加費など

【日 程】 2月23日(金)～2月26日(月)

【集合時間・場所】

【埼玉】 JR高崎線岡部駅バス乗り場
6:00集合・出発

【東京】 大正大学3号館1階
7:30受付開始、8:00出発



■JR高崎線・・・岡部駅
埼玉工業大学スクールバス発着所



■都営地下鉄三田線・・・西巣鴨駅A3出口下車 徒歩2分
■JR埼京線・・・板橋駅東口下車 徒歩10分

・時間に余裕を持ってお越しください。

・天災、天候等の影響によりプログラムを中止する場合は、「私大ネット36」のホームページの「新着情報」でお知らせします。(URL <http://shidai-net36.jp/>)

○出発前日⇒前日の17時に判断し掲載 ○当日⇒当日の朝に決定次第、掲載

【参加費】

・参加費は、現地到着時に現金で徴収します。おつりが出ないようにご注意ください。

※1週間前からのキャンセルは、初日の宿泊費100%を請求します。

キャンセルが分かった時点でフィールド学習支援課にお電話でご連絡ください。

(電話が繋がらない場合はメールでご連絡ください。)

※参加費は大学によって補助が出る場合があるため、各大学の私大ネット36担当窓口にお問い合わせください。

■持ち物

- | | | | |
|---|---------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> 参加費 | <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> 印鑑 | <input type="checkbox"/> 筆記用具(メモ帳、ノート) |
| <input type="checkbox"/> 寝間着 | <input type="checkbox"/> 動きやすい靴 | <input type="checkbox"/> 洗面道具(タオル、歯ブラシ他) | |
| <input type="checkbox"/> 帽子(防寒対策) | <input type="checkbox"/> レインコート | <input type="checkbox"/> デジカメ(スマホでも可) | |
| <input type="checkbox"/> デジカメやスマホのデータをパソコンに取り込むケーブル | <input type="checkbox"/> イヤホン | | |

あると望ましいもの:ノートパソコン、常備薬、USBメモリ、延長コード、カイロ

※現地では、昼でも氷点下まで気温が下がり、積雪のある場合もあります。あたたかい服装と、動きやすい靴(スノーシューズや防水性のあるブーツなど)をご用意ください。

■春期 スタディツアー参加時の注意点

現地では以下の事項を忘れることなく活動してください。

<体調管理>

体調は万全で臨み、自己管理に努めること。また、体調に異常を感じた場合は、なるべく早く現地職員または引率教員に申し出、無理はしないこと。

<危機管理>

(1)フィールドワーク中、危険と思われる場所には立ち入らないこと。冠水時・積雪時は特に気を付けること。迷子になってしまった場合、時間までに戻れそうにない場合は早めに現地職員または引率教員に連絡すること。

(2)地震発生時には、即座に正しい情報の把握に努め、高台に避難すること。自分の身は自分で守ること。

<生活態度>

(1)一人の行為が、大学全体の行為ととられることをよく自覚し、節度ある行動を心がけること。
(2)町内、また研修センター内において、騒がしくして住民の方や他のお客様に迷惑をかけること。

(3)門限(22時)は厳守し、それ以前でも夜間は一人では出歩かないこと。

(4)未成年の学生は絶対に飲酒しないこと。また、夜遅くまで起きていて次の日に活動に差し障ることのないよう、節度を守ること。

<現地で活動するときの注意点>

(1)相手の気持ちを第一に考えましょう

直接受けた被害の大きさに関わらず、みな多かれ少なかれ心の傷を負っています。震災のことやプライベートなことをきいたり、写真撮影をしたりするときは、相手や周囲の方々の気持ちを第一に考えましょう。また、自分にとっては一度の訪問でも、相手は何度も同じことを聞かれている可能性もあります。

(2)自分が地域からどう見られているかを考えましょう

自分は自分のつもりでも、地域の方からは「〇〇大学の学生」「いりやどに泊まっている人」「あの人から紹介された人」というふうに見られます。現地で評判を落とすと、地元の方や後に活動する学生にまで迷惑をかけることにもなります。

(3)現地の方の話は真剣に聞きましょう

スタディツアーでは、様々な経験をすることによる疲れが溜まると思います。現地の方の話を聞いている途中で寝ていたりすることがないようにし、万が一、寝ているのを見つけたら互いに起こしたり注意するようにしましょう。

(4)「学ばせていただく」気持ちを大切に

目的を持って学びにくる学生に対して、地域の方は自分の仕事や生活の時間を割いて対応してくださっています。また、ボランティア活動であっても、「してあげる」気持ちではなく、「自分が学ばせていただく」という気持ちで取り組んでください。

<求められる行動>

- ① 挨拶をしっかり ② 5分前に行動する ③ 自ら主体的に動く

Act1:2/23(金)~2/26(月)

南三陸の語りを集めよう!

引率教員

田中 克明 (たなか かつあき)

(埼玉工業大学 人間社会学部 情報社会学科 准教授)

南三陸で暮らす人、南三陸を訪れる人。南三陸に集まる人たちのさまざまな語りを、集め、聴いて、考えてみましょう。この Act では、黒電話を使って人々の語りを集める仕組み、「Telephonoscope」を用いて、南三陸のさまざまな場所で、そこを訪れる人々の語りを集めます。Telephonoscope は、黒電話の受話器をとると質問が流れ、この質問に応える形で個人個人の想いを話してもらうシステムです (http://storyplacers.tumblr.com/)。震災・復興に限らず、どのような質問をして語りを集めるかを考えるところから始め、人が自身のことを語る場を作り、集まった語りを聴くことを通して、南三陸の今を、見つけられるかもしれません。

文書をコンピュータを使って処理したり、いろいろな Web システムを作ったり、知的情報システムの構築を専門に研究しています。趣味は盆栽とヘルメットをかぶって車を運転すること。実は南三陸へは今回はじめて！ よろしくお願ひします！



■ 詳細スケジュール

Table with 2 columns: 日程 (Schedule) and 内容 (Content). It details the activities from February 16th to 26th, including pre-study, the main event days (23rd, 24th, 25th, 26th), and post-study.

MEMO

■ 緊急連絡先・お問合せ先

引率職員(長野): 080-3914-5435(プログラム中のみ)
南三陸まなびの里いりやど: 0226-25-9501
【お問合せ】
東北再生「私大ネット36」事務担当 大正大学教務部フィールド学習支援課
tel: 03-5394-3062 fax:03-5394-3055 mail: info@shidai-net36.jp
土日の緊急連絡はメールをご利用ください。

■ 地震発生時の避難先について

避難先については以下のURLもしくはQRコードを読み取って確認をしてください。

南三陸町防災マップ
http://www.town.minamisanriku.miya.gi.jp/index.cfm/30,9669,100,html

